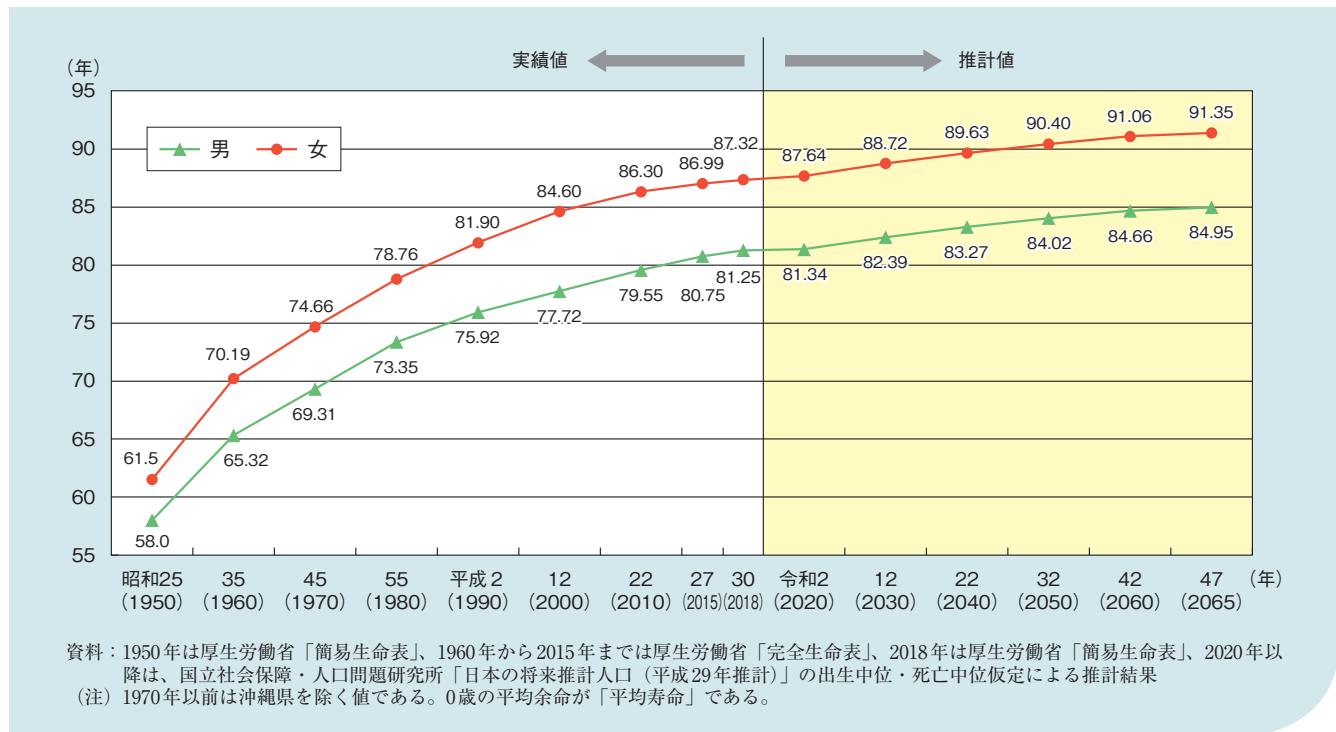


才 将来の平均寿命は男性84.95年、女性91.35年

我が国の平均寿命は、平成30（2018）年現在、男性81.25年、女性87.32年と、前年に比べて男性は0.16年、女性は0.05年上回った。今後、

男女とも平均寿命は伸びて、令和47（2065）年には、男性84.95年、女性91.35年となり、女性は90年を超えると見込まれている（図1-1-4）。

図1-1-4 平均寿命の推移と将来推計



2 高齢化の国際的動向

（1）今後半世紀で世界の高齢化は急速に進展

平成27（2015）年の世界の総人口は73億7,980万人であり、令和42（2060）年には101億5,147万人になると見込まれている。

総人口に占める65歳以上の者の割合（高齢化率）は、昭和25（1950）年の5.1%から平成27（2015）年には8.2%に上昇しているが、さらに令和42（2060）年には17.8%にまで上昇するものと見込まれており、今後半世紀で高齢化が急速に進展することになる。地域別に高齢化率の今後の推計を見ると、これまで高齢化が進

行してきた先進地域はもとより、開発途上地域においても、高齢化が急速に進展すると見込まれている（表1-1-5）。

（2）我が国は世界で最も高い高齢化率である

先進諸国の高齢化率を比較してみると、我が国は1980年代までは下位、90年代にはほぼ中位であったが、平成17（2005）年には最も高い水準となり、今後も高水準を維持していくことが見込まれている（図1-1-6）。

表1-1-5 世界人口の動向等

	1950年(昭和25年)	2015年(平成27年)	2060年(令和42年)※中位推計
総人口	2,536,431千人	7,379,797千人	10,151,470千人
65歳以上人口	128,709千人	607,548千人	1,810,398千人
先進地域	62,737千人	220,834千人	357,344千人
開発途上地域	65,972千人	386,714千人	1,453,053千人
65歳以上人口比率	5.1%	8.2%	17.8%
先進地域	7.7%	17.6%	28.2%
開発途上地域	3.8%	6.3%	16.4%
平均寿命(男性)	45.49年	68.53年	76.29年
同(女性)	48.49年	73.31年	80.64年
合計特殊出生率	4.97	2.52	2.11

資料：UN, World Population Prospects : The 2019 Revision

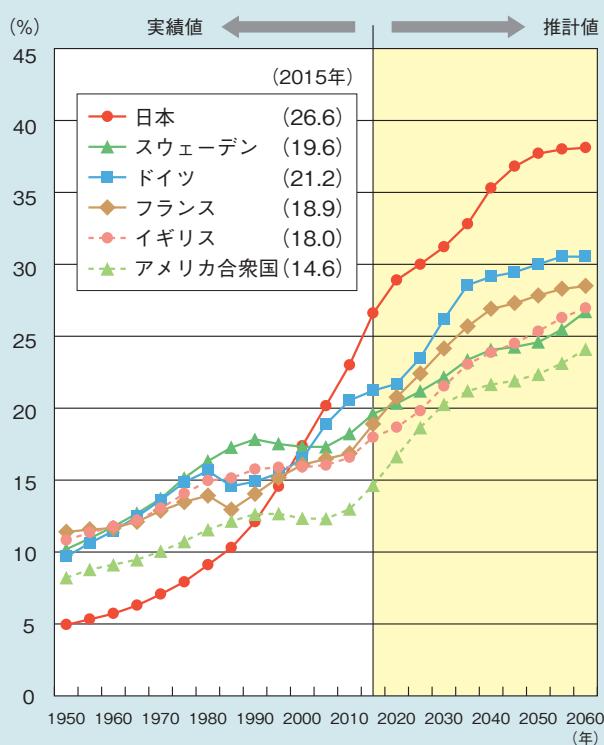
(注1) 合計特殊出生率及び平均寿命は1950-1955年、2010-2015年、2060-2065年

(注2) 先進地域とは、ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリア及びニュージーランドからなる地域をいう。

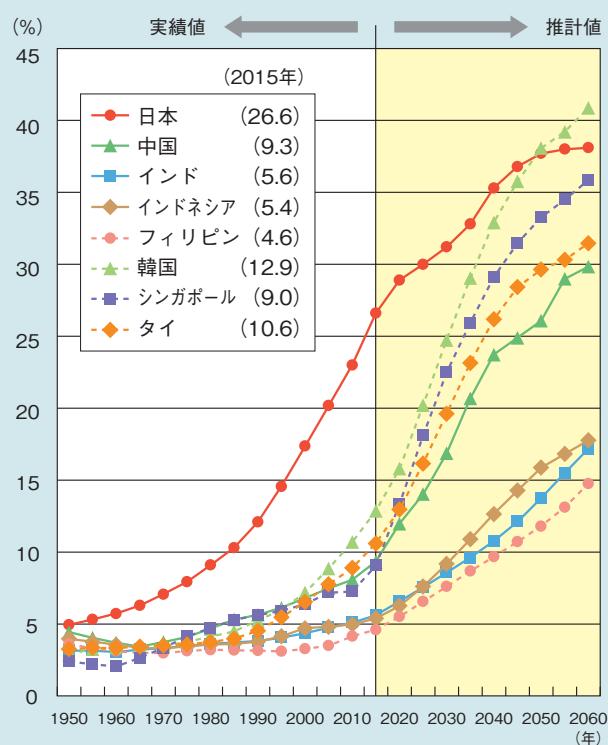
開発途上地域とは、アフリカ、アジア(日本を除く)、中南米、メラネシア、ミクロネシア及びポリネシアからなる地域をいう。

図1-1-6 世界の高齢化率の推移

1. 欧米



2. アジア



資料：UN, World Population Prospects : The 2019 Revision

ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

高齢化の速度について、高齢化率が7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数（倍加年数）によって比較すると、フランスが126年、スウェーデンが85年、アメリカが72年、比較的短い英国が46年、ドイツが40年に対し、我が国は、昭和45（1970）年に7%を

超えると、その24年後の平成6（1994）年には14%に達した。一方、アジア諸国に目を移すと、韓国が18年、シンガポールが17年など、今後、一部の国で、我が国を上回るスピードで高齢化が進むことが見込まれている（図1-1-7）。

図1-1-7 主要国における高齢化率が7%から14%へ要した期間

